

特定非営利活動法人静岡情報産業協会

令和 7(2025)年度事業計画(案)

I. 令和 7(2025)年度事業計画

自: 令和 7(2025)年 4 月 1 日

至: 令和 8(2026)年 3 月 31 日

1. 事業計画の概要

当協会(SIIA)は平成 2(1990)年に、「情報の産業化と産業の情報化」を掲げて設立以来 35 年にわたって静岡に情報産業を醸成するとともに、地域の企業、住民あるいは行政に対して情報化に協力することを目的に事業を進めて来た。

その後我が国では国を挙げてデジタル化の推進を図り、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」を目指した DX 化の指針を明らかにしている。

そこで当協会においても、地域の企業や行政のデジタル化あるいは DX 化をめざし、デジタル活用とデジタル技術を活用した業務変革(DX)推進事業を継続する。

またこの事業を通じて、会員企業あるいは地域の団体などに対して日々変化する ICT の中でも特に生成 AI やメタバースあるいはサイバーセキュリティーなど、最先端のデジタル技術やスマートテクノロジーに関する情報提供と技術習得の機会を提供する。

併せて、大学生などの若い世代に対する情報産業の業界に関する啓蒙と啓発ならびに次世代の育成に努めて行く。

(1) 教育研修部会

「会員のスキル取得の機会づくり」

移り変わりが激しい ICT の世界において、常に市場や技術の動向を踏まえ会員のために役立つ情報と学習機会を提供することに主眼を置き、この部会が有する特性を活かし、新たな技術や今後の ICT 業界の方向性を示唆する講師陣を招聘してセミナー、研修会を開催し、会員にとって有用な最新情報の提供や技術者の技術力向上に役立てる。

また、地域や業界が抱える課題の解決や、地域全体の教育/研究力を高めることを目的に会員企業の技術者育成研修を継続する。この技術者育成研修事業は、毎年一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)の地域連携事業に応募しているが、本年度も同様に補助金を得て地域ビジネス活性化に資する活動を実施する。

さらに、視察研修事業については、一昨年度から再開した国内視察研修を軸に先進事例など学ぶべき地域の探索を行い、時代の先端を行く事例の研究を深めて行く。

(2) ビジネス交流部会

「会員の情報交換、交流の場づくり」

この事業は、会員交流会を通じて会員同士の知り合う機会を深め、そこから新たなビジネスチャンスを創出することを狙いとし、会員企業の「我が社の一押し」をテーマにした「会員交流会」を開催する。

これと併せて、これまで2年にわたり教育研修部会と連携開催した会員企業の「若手社員交流セミナー」が参加者から好評を得ており、本年度も継続して実施する。

また、会員企業がこれまで培ってきた技術やノウハウを互いに共有し、協会から外部に目を向け、自治体や小規模事業者が抱える課題解決策について具体的な提案できるような体制ならびに機会づくりを強化していく。

(3) 次世代育成部会

「人財採用の場づくり、担い手の育成」

ICT業界においても慢性的な人材不足の問題を抱え、その解決のための事業を中心に活動している「人材開拓推進部会」では、本年度も継続して同様のテーマにより地元のICT企業の人材確保をテーマに活動する。

また、当協会の特色の一つでもある、地元の大学、専門学校などの教育機関と連携の実績はかなり積み上がっており、これまで積み上げてきた事業のノウハウを活かし、協会会員の大学生を対象に、ICT企業の魅力と仕事のやりがいを知る機会を提供する企画を実施する。

具体的な方策として、令和3年度から実施している「ITパスポート取得講座」は、地元の大学生向けに開講してきたが、本年度は、その対象を更に拡大を試み、多くの大学生にITに関する知識と情報を与える機会を創設する。

併せて会員企業の先輩技術者あるいは経営者などを講師として、次世代を担う世代の育成を目指した各種講座の継続的開催を目指す。

(4) 部会連携プロジェクト

昨年度までに、3部会の連携による事業展開も実績を挙げつつある中で、本年度も継続して、部会を横断した「部会連携プロジェクト」により、SIIAから外部に向けた提言活動を含む発信力及び行動力の向上を目指す。

2. 事業の骨子

以上を踏まえ、当協会本年度事業を次のように計画する。

(1) 教育研修部会の事業

①通常総会開催時に講師を招き講演会を開催

- ・実施時期:令和7年5月
- ・開催場所:静岡商工会議所会議室
- ・経費予算:10万円

②国内での体験や視察ツアーを実施して ICT 業界の最先端情報を収集

- ・実施時期:令和7年6月～令和8年2月
- ・開催場所:未定
- ・実施内容:国内の IT 関連施設などを視察し、新たな働き方を知り考える機会を作る
- ・収入予算: 20万円
- ・経費予算: 20万円

③地域 ICT 企業の地力向上のための技術研修事業を、静岡大学の協力を受けて実施

- ・実施時期:令和7年8月～9月
- ・予定人数:30人
- ・開催場所:静岡大学
- ・収入予算:80万円
- ・経費予算:110万円

④これからの IT 技術者に必要なスキルをピックアップし、ICT 最新技術向けのビジネス講座を実施

- ・実施時期:令和7年9月～令和8年2月
- ・開催場所:静岡市内(未定)
- ・収入予算:14万円
- ・経費予算:20万円

⑤会員からのニーズに応じたセミナーを実施

- ・実施時期:令和7年10月～令和8年2月
- ・開催場所:静岡市内(未定)
- ・収入予算:6万円
- ・経費予算:10万円

⑥高校生向けに ICT 講座を開催

- ・実施時期:令和7年8月～12月
- ・開催場所:未定
- ・経費予算:10万円

(2) ビジネス交流部会の事業

- ①会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用した会員交流会及び交流会終了後の交流懇親会を開催(年2回開催)
 - ・実施時期:令和7年4月～令和8年2月の間で2回
 - ・開催場所:静岡商工会議所会議室
 - ・経費予算:10万円

- ②会員企業の若手社員を対象にしたセミナー及びセミナー終了後の交流懇親会を開催(年2回開催)
 - ・実施時期:令和7年4月～令和8年2月の間で2回
 - ・開催場所:静岡市内会議室
 - ・経費予算:15万円

- ③自治体及び小規模事業者向けDXによる業務変革課題に対する提案
 - ・地域のICT化に寄与するため、ICTに関する専任者がいない組織や小規模事業者が抱える課題に対して、市内の施設等に赴き、その場で参加者とディスカッションをしながら課題をヒアリングして具体的な解決策を提案
 - ・実施時期:令和6年7月～令和7年2月(適宜開催)
 - ・経費予算:5万円

(3) 次世代育成部会の事業

- ①学生向けICT講座
 - ・大学生、特に文系学生向けに、IT、業界の魅力を感じてもらい、且つ、資格取得を支援する講座を、年間を通して開催
 - ・経費予算:60万円

- ②「未来志向の学生向けセミナー」の企画・立案、実施
 - ・静岡大学、静岡県立大学、常葉大学、静岡英和学院大学等 SIA 会員大学での開催を計画
 - ・経費予算:40万円

(4) 調査研究・交流促進および部会連携プロジェクト事業

- ①総会時会員交流会を実施
 - ・実施時期:令和7年5月28日(総会・講演終了後)
 - ・開催場所:静岡商工会議所

- ・参加人数:50人
- ・経費予算:10万円

②理事交流会を実施

- ・収入予算:7万円
- ・支出予算:10万円

③総会・理事会・運営委員会・プロジェクト(PT)等の会議開催

- ・経費予算:25万円

④部会連携プロジェクト会議を適宜開催し、今後の SIIA の新たな可能性を見出す。

(5) 地域連携事業

①業会団体および地域の団体・機関並びに自治体の実施する事業に協力

- i. 協会員への情報提供のため(一社)情報サービス産業協会(JISA)の入会継続
 - ・経費予算:25万円
- ii. JISA「地域連携事業」プログラムに参加
 - ・収入予算:30万円
- iii. 県及び静岡市が開催するデジタル化に関するセミナー、研究会の事業に協力
- iv. 静岡商工会議所「情報文化部会」に参加協力
- v. 「地域企業デジタル化推進特別委員会」に参加協力
- vi. 静岡県優秀技能者功労表彰(「情報処理」部門)審査に協力

②西部／東部ベンダー団体と情報連携する。

(6) 広報事業

①会員に対する情報提供(Web 広報、パンフレット等作製、HP・サーバー管理等)

- ・経費予算:53万円